情報処理試験　1997 年 2 月 19 日　　1996 年度冬学期

試験時間 90 分、 問題用紙 1 枚、答案用紙　(両面) 1 枚　　担当 牧野淳一郎

注意 :教科書、参考書等の持ち込みは不可

問題 **1** 以下の作業を行なう方法を説明せよ。

(a) Latex の文書を作り、それを sample.tex という名前で自分のホームディレクトリにしまう。

(b) 自分のホームディレクトリの下に新しい documents という名前のディレクトリを作り、そこに今作った sample.tex というファイルを移動する。

(c) ディレクトリ documents の下に sample.tex というファイルがあるかどうか調べる。

(d) sample.tex というファイルを元にして少しだけ中身を変えた sample1.tex というファイルを作る。

(e) sample.doc というファイルを makino 宛に電子メイルで送る。

(f) 学生証番号 610001 の人がホームディレクトリに持っている kadai3.c という名前のファイルを自分のホームディレクトリにコピーする。

問題 **2** 以下のプログラム　(の一部) とその説明を読んで、プログラムが間違っていればその誤りを説明し、説明通りのことをするように修正せよ。なお、誤りは一つであるとは限らない。

例 : `if (a==0) printf("a is positive\n");`
もし a の値が正なら、a is positive と出力する。

回答 :これは、a が正の場合ではなく、 a が 0 に等しい場合に出力するようになっている。正しいプログラムは以下の通り。`if (a>0) printf("a is positive\n");`

(a)

```
if (a > b){
   b = a;
   a = b;
}
```

もし a が b より大きければ、 a と b の値を入れ換える。

(b)

```
n = 10;
for(i = 0; i < n; i ++){
   scanf("%d", &n);
   sum += n;
}
printf("sum = %d\n", sum);
```

入力した 10 個の数字の合計を計算し、出力する。

問題 **3** 計算機を使ったコミュニケーション、例えば電子メイルや WWW による情報発信は、ここ数年で急速に普及した。これらの通信手段の特徴と、使う上で注意するべき点について、通常の電話、手紙などの通信手段や新聞、テレビなどのマスメディアと対比させて述べよ。